

北中校内研修だより

平成 23 年 10 月 21 日 (金)

1 年 7 組 T1 橋爪 圭介

第 5 校時 T2 五十嵐 悠

1 年英語 提案・申し出・指示の表現

～Let's 動詞と命令形～

授業方針 ・辞書を使わずに与えられた課題を自分の英語力で表現して定着させる
・意見交換により言いたいことを違った表現方法に気がつくよう留意する

【授業改善の視点】

提案・申し出・指示を学ぶ場面において、グループ活動によるスキット作りの中で意見交換と発表活動を行うことにより、提案・申し出・指示の文の使い方が理解できるだろう。

【授業の流れ】

- 1・スタディーノートと音読により既習事項の確認。音読は今回の表現に欠かせない既習の動詞のみにしぼって英単語と日本語の交互読みを行う。
- 2・名詞のピックアップカードと記入用の紙を配って文章を書かせるグループワークを行う。
(学び合い①)
- 3・グループワークで確認できた既習事項を参考にグループごとに5文以内の会話文を作成させる。その際に提案・申し出・指示のいずれかの表現を入れさせる。さらに、完成した会話を黒板に掲示して、訳をワークシートに記入して確認する。

(学び合い②)

【学び合い①の成果】

- ・予想よりも多くのパターンの疑問文や否定文を書けていた。
- ・発展として形容詞を活用していたグループもあった。
- ・忘れかけていた表現をグループワークの意見交換を通して再確認できた。

【学び合い②の成果】

- ・提案・申し出・指示を教え合うことで英文が作成できた。
- ・話し合いで会話の流れを作ることにより、場面を想像しながら英文を活用できた。
- ・読み方をグループ内で教え合い、音読することができるようになった。



全体を通して

学んだことを活用し、表現していくことで自分のなかにある英語力は「実際の会話で使える英語」ということに自信がついたと思います。意見交換のなかで文法的な誤用に気がつくことができました。また、教科書にない英文に出会えたことでより多彩な提案・指示・申し出の表現に出会うことができました。

参観していただいた先生方より

《良かったところ》

英文が非常に多く作れていた。

some や any の細かい部分にまで学び合いが行われていた。

意見交換が非常によくできていた。



《改善点・課題》

学び合い①が学び合い②に密接につながるような授業展開をすると活動の意味が繋がってくる。生徒個人が主体的に書く必要のある時間を設けて定着につなげるとよい。